

<傍子宮頸管ブロック説明・同意書>

私は傍子宮頸管ブロック麻酔に関して担当医師 院長 水鳥 真和 より以下の説明を受けました。

1. 麻酔を行う理由

- ・子宮体癌検査
 - ・ミレーナ挿入
 - ・流産手術
 - ・人工妊娠中絶手術
- を行う際の麻酔として行う。

2. 麻酔内容

1) 前処置について

- ・麻酔施行30分前にロキソニン錠を1錠内服します。
- ・念のために静脈路確保を行い、酸素飽和度モニターを装着します

2) 麻酔について

通常の膣鏡診を処置台または手術台で行います。

子宮把持鉗子使用部位に1%キシロカインを2ml注入した後、子宮をけん引しながら、子宮傍頸管の4時、8時、2時、10時の部位に1%キシロカイン液（計16ml）を注射針にて局所注入します。

3) 合併症・副作用について

1. ショック：まれにショック症状、中毒症状を起こすことがあります。
2. 出血：血管への刺入が無いか確認しながら行います。
3. 感染：消毒を入念に行い、必要時に抗生物質を投与します。
4. その他 眠気、ふらつき 等

3. 帰宅について

手術・処置後1時間後くらいで帰宅していただきますが、ふらつき等が出る場合がありますので、車の運転はさけてください。

4. 費用について

上記安全のための点滴静脈路確保、1時間のベッド使用安静、酸素飽和度確認は自費診療（3,000円/回）となりますことをご了解お願いします。

5. その他

医) 産科・婦人科 みずとりクリニック 院長 水鳥真和 殿

私は上記麻酔処置の必要性、合併症、副作用の可能性などについて
院長 水鳥真和より説明を受けて十分に理解しましたので、
貴医院で本麻酔を受けることに同意します。

年 月 日

当院 ID 番号 : _____ お名前 : _____